

最近の広島県経済の動き（2026年7月）

2026年7月

株式会社ひろぎんホールディングス
経済産業調査部

本レポートのサマリー	P. 2
I. 最近の注目点	P. 3
II. 主要項目の動き	P. 4－13
III. 主要経済指標	P. 14－15

品質向上のためアンケートにご協力ください。

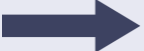


PCの方は[こちらをクリック](#)

※ ナインアウト株式会社が提供する
アンケートサイトへ遷移します。

[最近の広島県経済の動き](#)

本レポートのサマリー

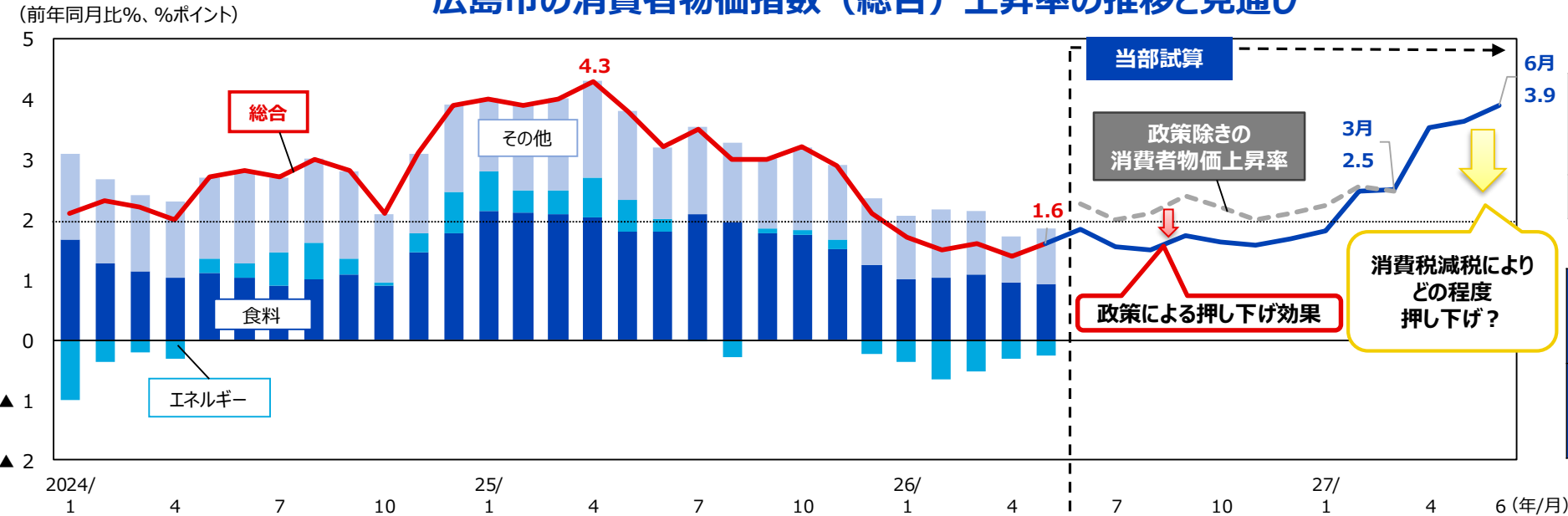
項目	天気図	方向感	コメント
景気の 基調判断			最近の県内経済は、電子部品・デバイスや主力の自動車を中心に輸出や生産が上向いているほか、設備投資が堅調に推移。個人消費も所得環境の改善を背景に緩やかながら回復基調にある。引き続き、イラン情勢の先行きとインフレの加速が懸念材料である。
輸出			5月の輸出金額は4ヵ月連続で前年を大きく上回った。品目別には再輸出品、地域別には台湾向け輸出が増加に寄与した。
生産活動			生産は、電子部品・デバイスが高水準で推移しているほか、自動車も新型モデルの投入などから上向いており、今後も回復基調を辿ると期待される。
設備投資			人手不足の深刻化等を背景に、自動化・省力化など生産性向上に向けた投資や就労環境の改善に向けた投資を中心に今後も堅調な推移が予想される。
個人消費			乗用車販売は2ヵ月連続のプラス、小売6業態の販売額も家電大型専門店等を中心に伸び幅が拡大。所得環境の改善を背景に消費は緩やかながら回復傾向にある。
住宅投資			新設住宅着工戸数は3ヵ月ぶりの前年比プラス。ただし、地価・労務費・住宅価格の上昇などを背景に水準としては低調に推移。
公共投資			2026年4～5月の公共工事請負金額は前年同期比プラス。

I. 最近の注目点

～企業のコスト上昇はいつ、どの程度、家計に波及するのか～

- イラン情勢の緊迫化に伴う原油高や円安の進行等を背景に物価上昇圧力が強まっており、2026年5月の輸入物価指数（円ベース）は前年同月比+25.5%、国内企業物価指数は同+6.3%と高伸しています。今後の家計消費を考える上では、こうした企業部門のコスト上昇がこういったタイミングで消費者物価に波及するかが焦点となります。そこで当部では、基調的なトレンドに加え、原油価格・為替の感応度を織り込んだモデルを用いて、消費者物価の先行きパスを試算しました。
- 試算によれば、広島市の消費者物価指数（総合）の上昇率は、26年中は大きく上振れすることなく、1%台で推移する見通しです（図表参照）。これは、食料を中心としたベース効果（前年の高い伸びの反動）による伸び率の鈍化に加えて、高校授業料無償化等の教育関連施策やガソリン補助金等のエネルギー関連施策といった物価抑制効果によるもので、こうした政策要因を除けば、2%を超える水準で推移するものと予想されます。
- 27年以降は、政策効果の剥落などにより物価上昇率は2%台から3%台へと伸びを高める見通しです。また、米国・イランの停戦協議が行き詰まり原油価格が高止まりするケースや、円安が一段と進行するケースでは、物価上昇の加速が前倒しされる可能性があります。
- もっとも、本試算には27年4月以降に予定されている食料品の消費税減税の影響は織り込んでおらず、減税がどの程度の物価押し下げ効果を発揮するかが今後の大きなポイントとなります。すなわち、コスト負担の増加の中で、企業は減税幅ほどの価格引き下げは行わない可能性が指摘されています。このため、先行きを見通す上では、減税政策の全体像に加え、企業の価格設定行動について注視していく必要があります。

広島市の消費者物価指数（総合） 上昇率の推移と見通し



【試算の前提】

WTI先物 (1バレル)	26/6	: 80ドル
	26/7	: 70ドル
	26/8以降	: 60ドル
ドル円	160円	

【政府の物価抑制策】

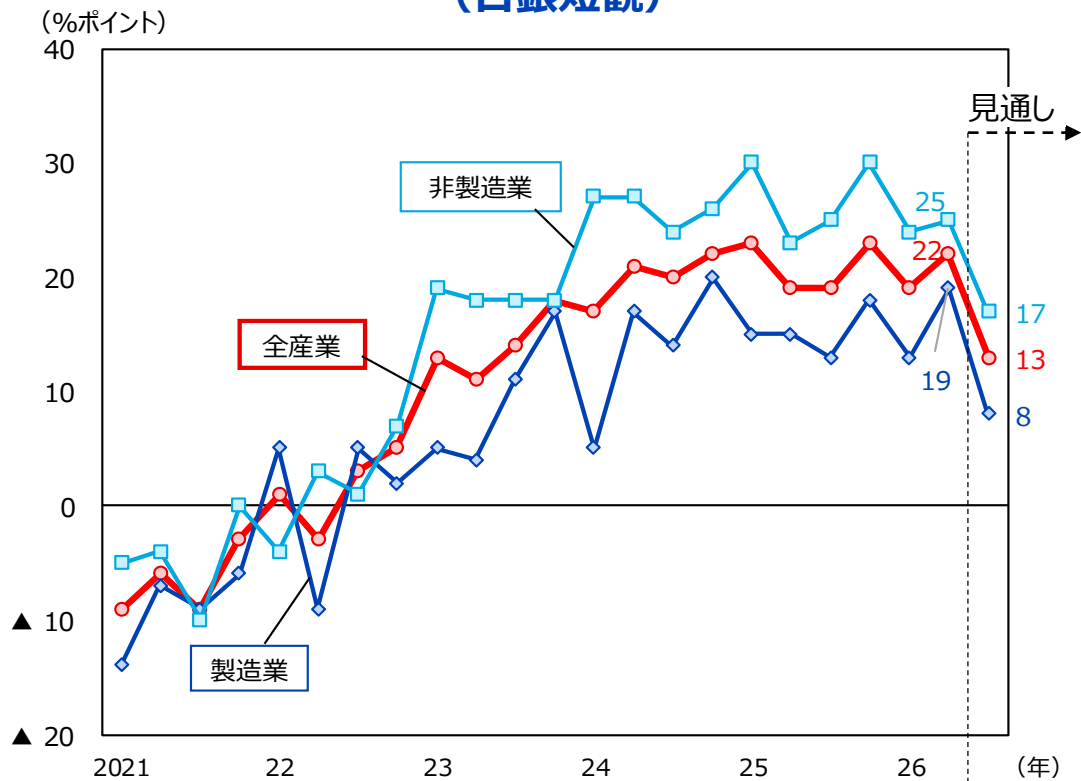
教育関連	私立高校授業料無償化 公立小学校給食費無償化
エネルギー関連	電気・ガス補助金 (26/7～9) ガソリン補助金 (～27/3)

(注) 棒グラフは前年同月比寄与度

(資料) 総務省資料より当部作成

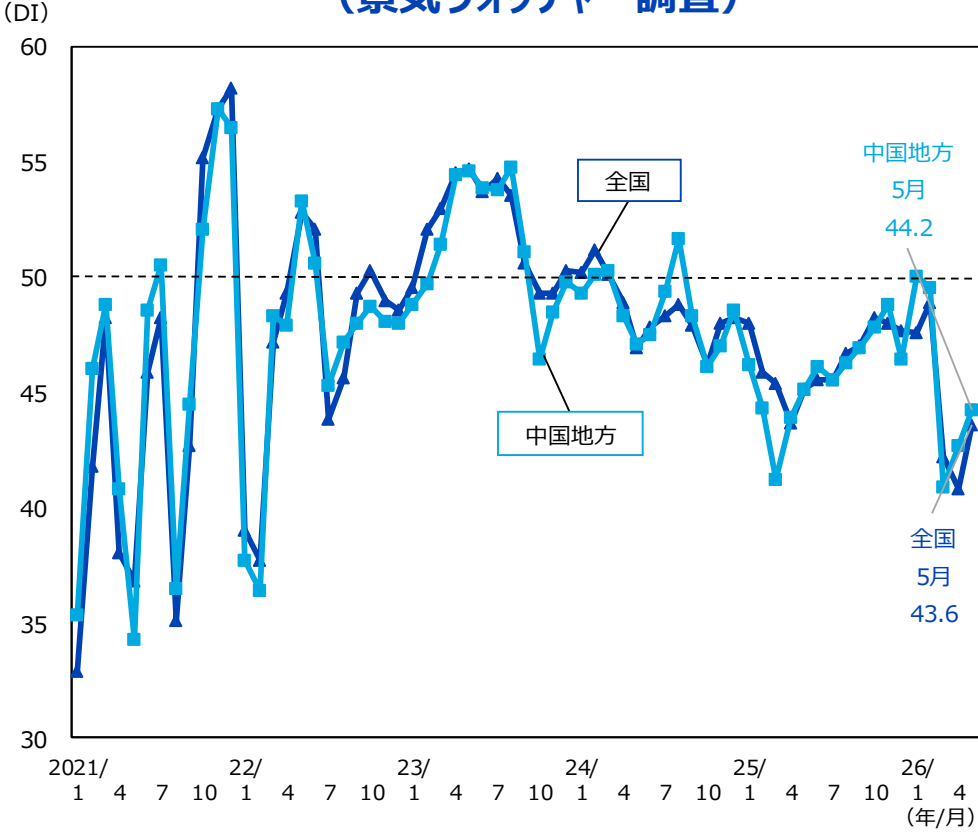
- 日銀短観（2026年6月調査）によれば、広島県内企業の業況判断DIは+22%ポイント（3月調査比+3ポイント）と上昇。製造業（同+6ポイント）が鉄鋼・非鉄金属など素材業種を中心に上向いたほか、非製造業（同+1ポイント）も宿泊・飲食サービスや運輸・郵便などで改善した。先行きのDIは+13%ポイント（6月調査比▲9ポイント）とイラン情勢等を背景に慎重な見方となっている。
- なお、景気ウォッチャー調査における中国地方の5月の現状判断DI（季節調整値）は44.2と、引き続き目安の「50」を大きく下回るものの、足下で改善しており底打ち感がみられる。

広島県内企業の業況判断DIの推移
（日銀短観）



（注）業況判断DI＝業況が「良い」－「悪い」とする企業割合
（資料）日本銀行広島支店「短観」より当部作成

現状判断DIの推移
（景気ウォッチャー調査）

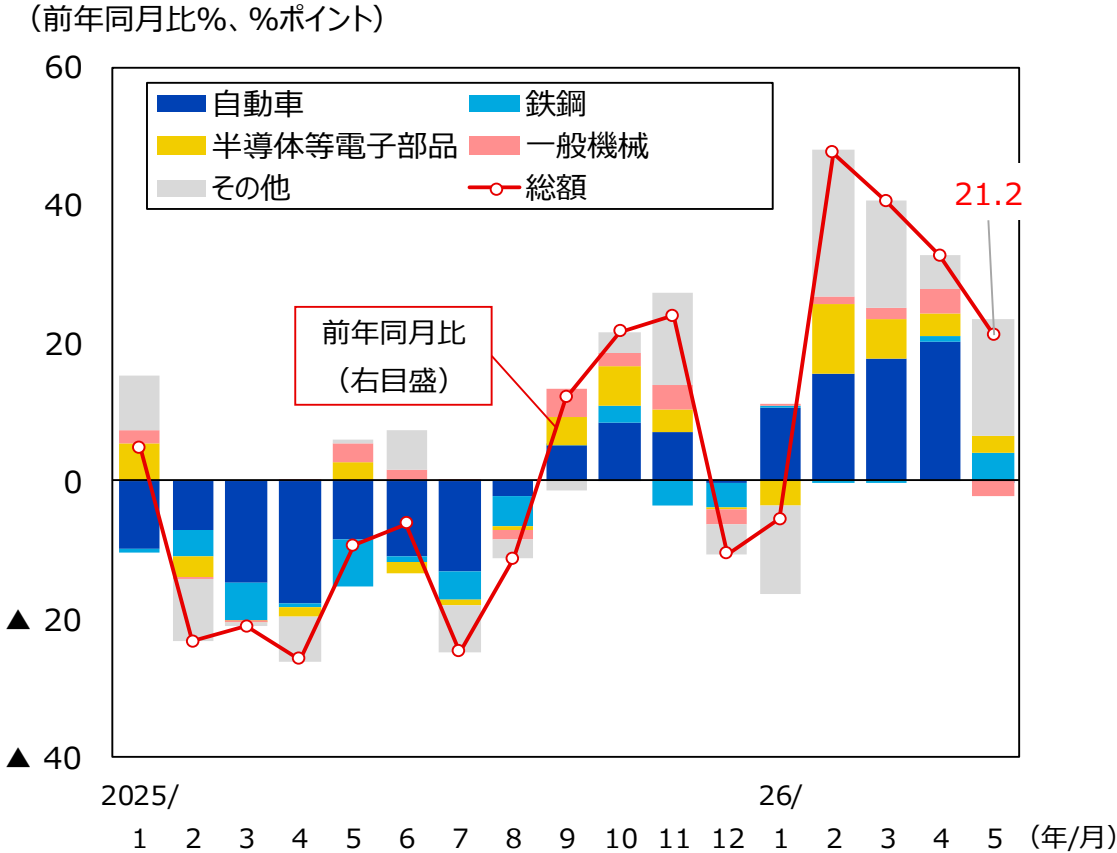


（注）季節調整値
（資料）内閣府「景気ウォッチャー調査」より当部作成

■ 2026年5月の広島県の輸出金額（2,342億円）は前年同月比+21.2%と、4ヵ月連続して前年を大きく上回った。品目別には再輸出品（※）（前年同月比寄与度+16.6%ポイント）が、地域別には台湾向け（同+19.8%ポイント）が全体を牽引した。

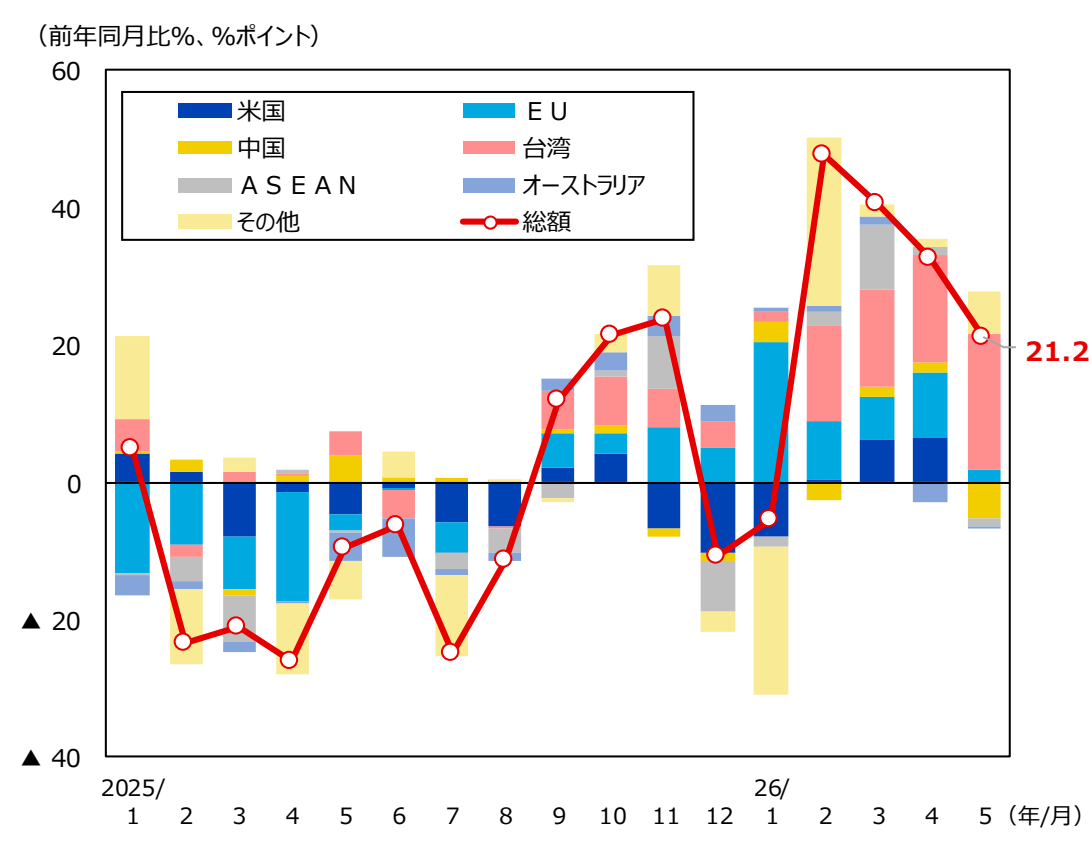
（※）再輸出品：日本から輸出する外国産貨物のこと。単純な混合・分離、単純な組立・分解などの加工にとどまり、国内産業に影響を与えない、あるいは国内で消費されない貨物は輸入の許可の日から原則1年以内に再び輸出される場合、関税が免除される。

広島県の輸出金額の推移（品目別寄与度）



(注) 再輸出品は「その他」に含む
(資料) 神戸税関資料より当部作成

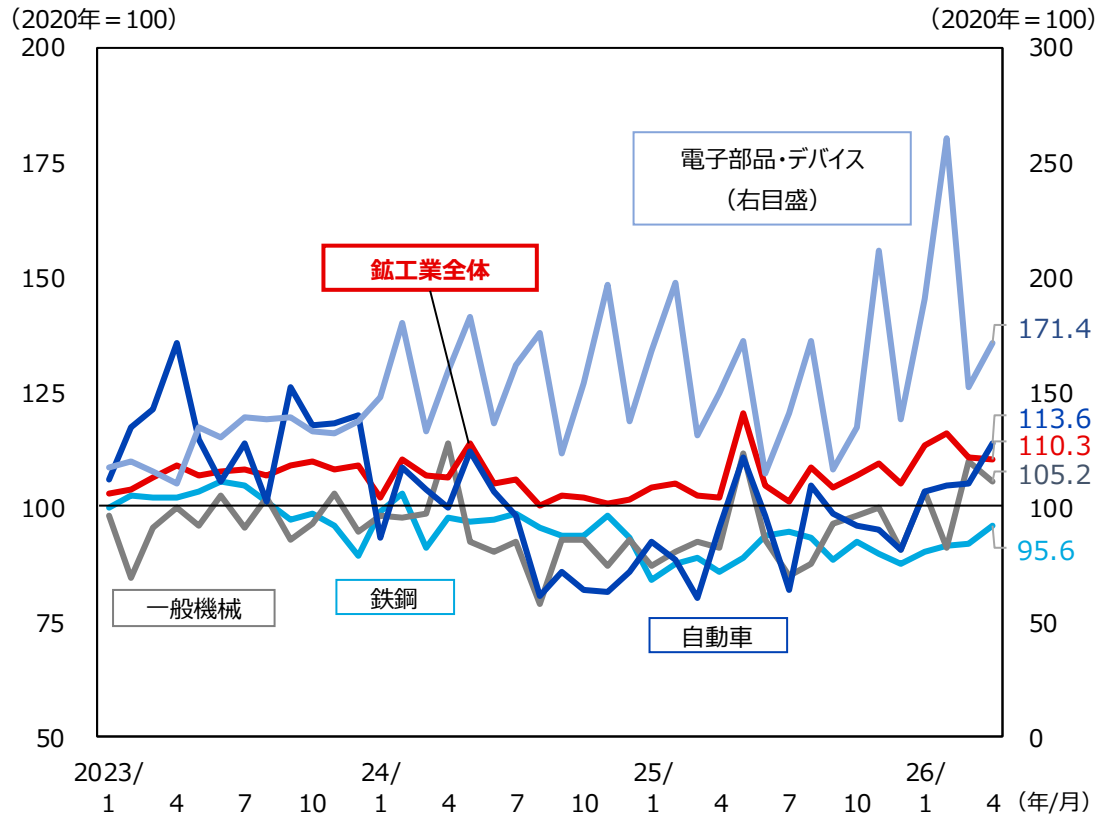
広島県の輸出金額の推移（国・地域別寄与度）



(資料) 神戸税関資料より当部作成

- 2026年4月の広島県の鉱工業生産指数（2020年＝100）は110.3と、前月（110.8）から小幅に低下。ただし、電子部品・デバイス（171.4）が引き続き高水準で推移しているほか、主力の自動車（113.6）も上向いており、県内の生産活動は全体として回復基調を辿ると期待される。
- ちなみに、26年5月のマツダの国内生産台数は53千台（前年同月比＋5.0%）と、4ヵ月連続で前年を上回った。CX-5の新型モデルの販売が昨年末の欧州に続いて北米・日本市場でもスタートしており、今後も底堅い動きが期待される。

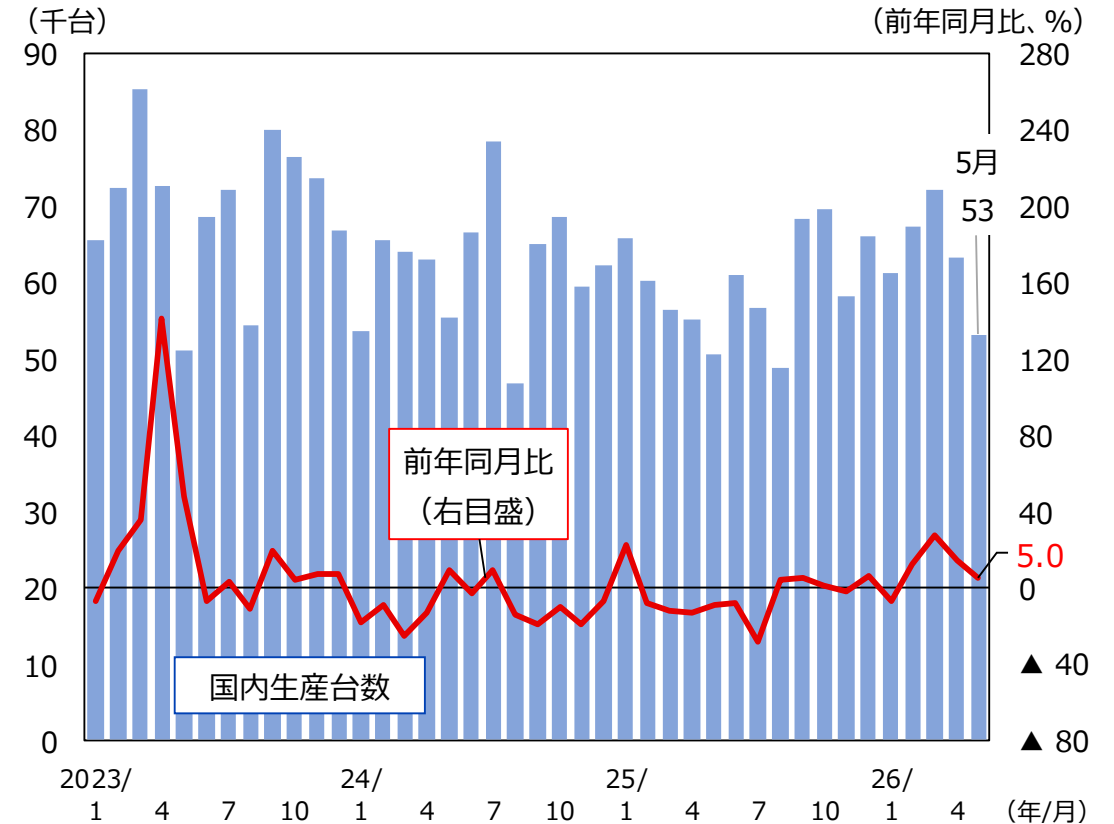
広島県の鉱工業生産指数の推移



(注) 季節調整値

(資料) 広島県資料より当部作成

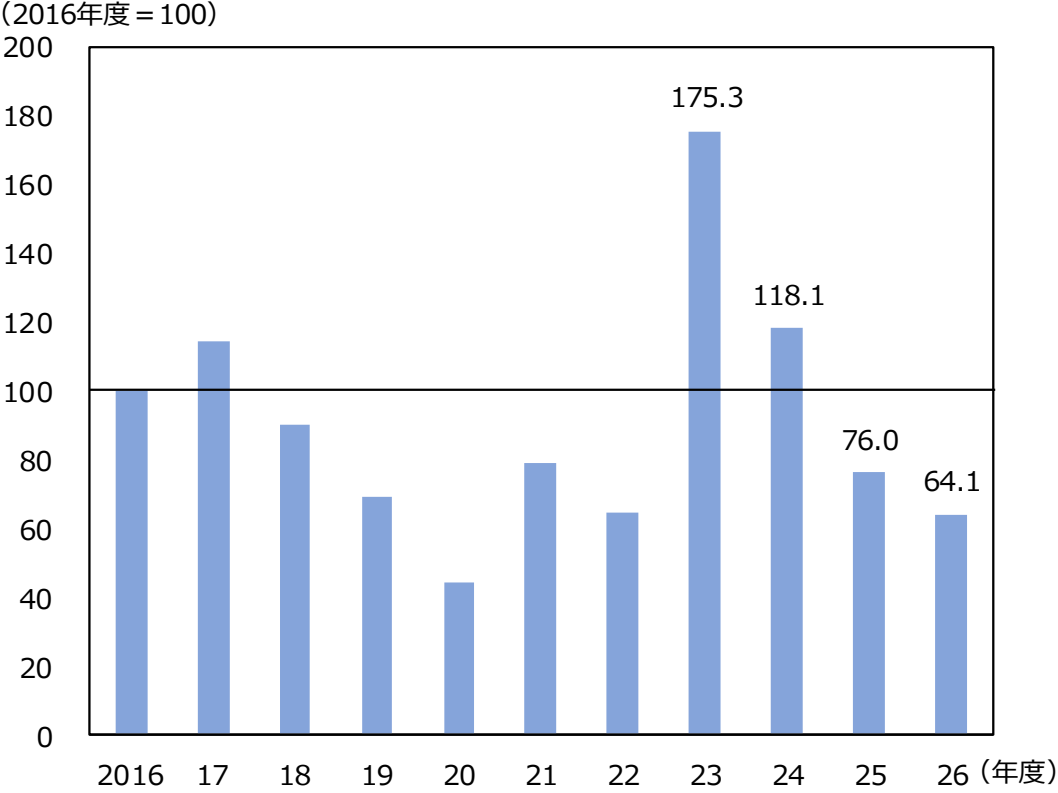
マツダの国内生産台数の推移



(資料) マツダ(株)資料より当部作成

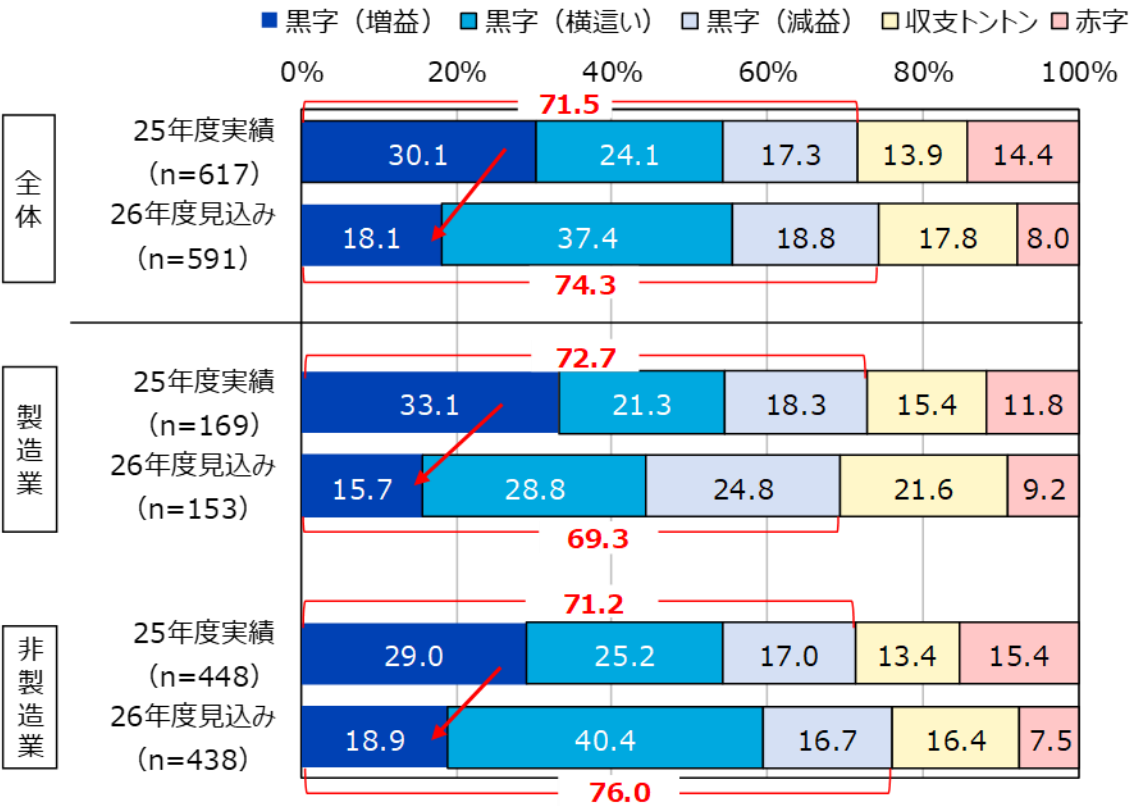
- 日銀短観によれば、県内企業の2026年度の経常利益（2016年度＝100）は全産業ベースで64.1と、3年連続の減益を計画。イラン情勢に伴うエネルギーや各種原材料、輸送コストの上昇などに伴う業績の下押しが見込まれている。
- 当部が県内の中小企業を中心に今年4月に実施した調査においても、26年度に増益を見込む企業割合は25年度の30.1%から18.1%に大きく低下している。

広島県内企業の経常利益の推移
（日銀短観）



（注）想定為替レート：25年度：149.84円／ドル、26年度：153.09円／ドル
（資料）日本銀行広島支店「短観」より当部作成

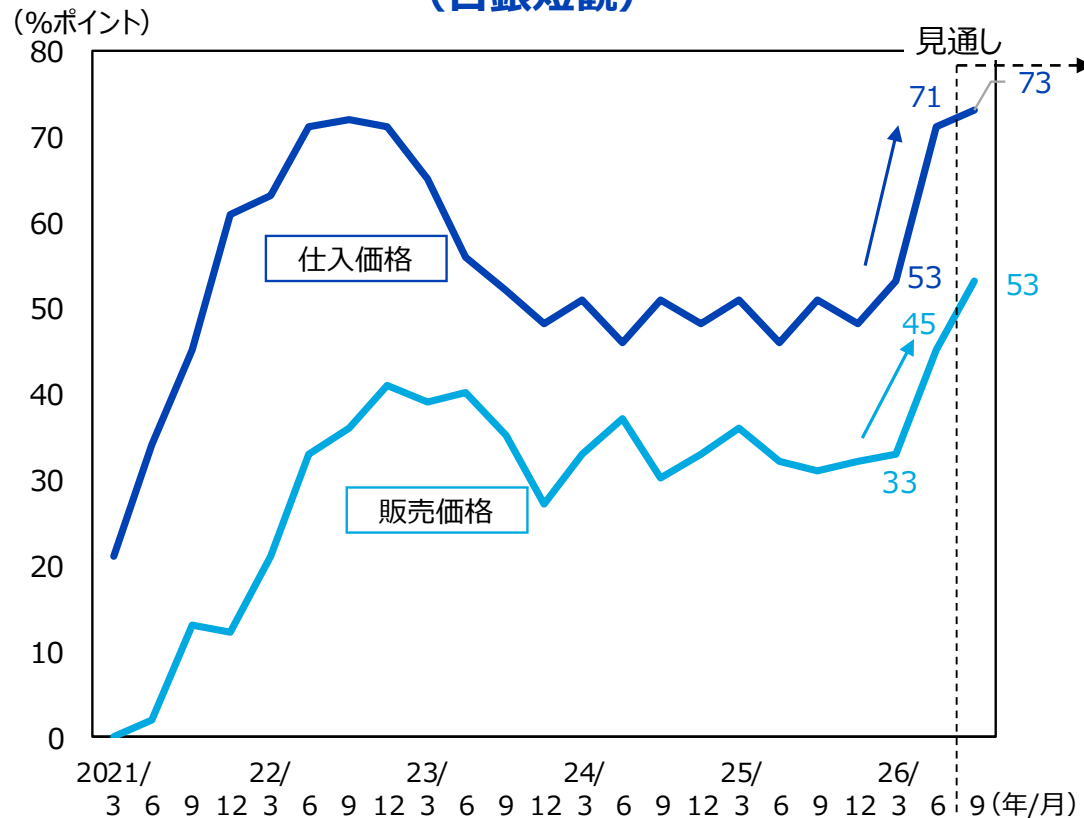
経常利益の業績別社数構成比
（当部2026年4月調査）



（資料）当部実施の経営者アンケート調査より作成

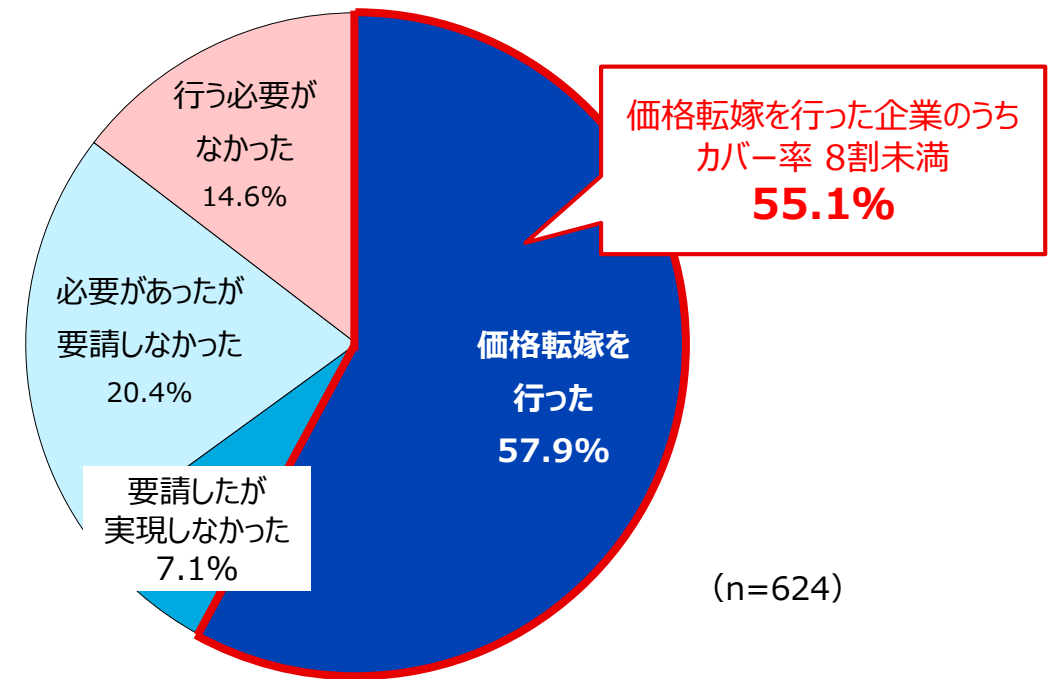
- ちなみに、日銀短観によれば、仕入価格判断DIは3月調査の53%ポイントから6月調査は71%ポイントへ、販売価格判断DIも同33%ポイントから45%ポイントへと大幅な上昇を見込んでおり、コスト上昇と価格転嫁の動きは先行きさらに強まる見通しである。
- もっとも、当部が2026年4月に実施した調査によれば、25年度に各種コストや人件費・労務費の販売価格への「転嫁を行った」と回答した企業は6割近くを占めたが、うち半数の企業はカバー率「8割」に届いていない。価格転嫁の進む企業とそうでない企業で、業績格差は一段と広がるものと予想される。

広島県内企業の仕入・販売価格判断DIの推移
（日銀短観）



(注) 仕入（販売）価格判断DI = 価格が「上昇」－「下落」した企業割合
(資料) 日本銀行広島支店「短観」より当部作成

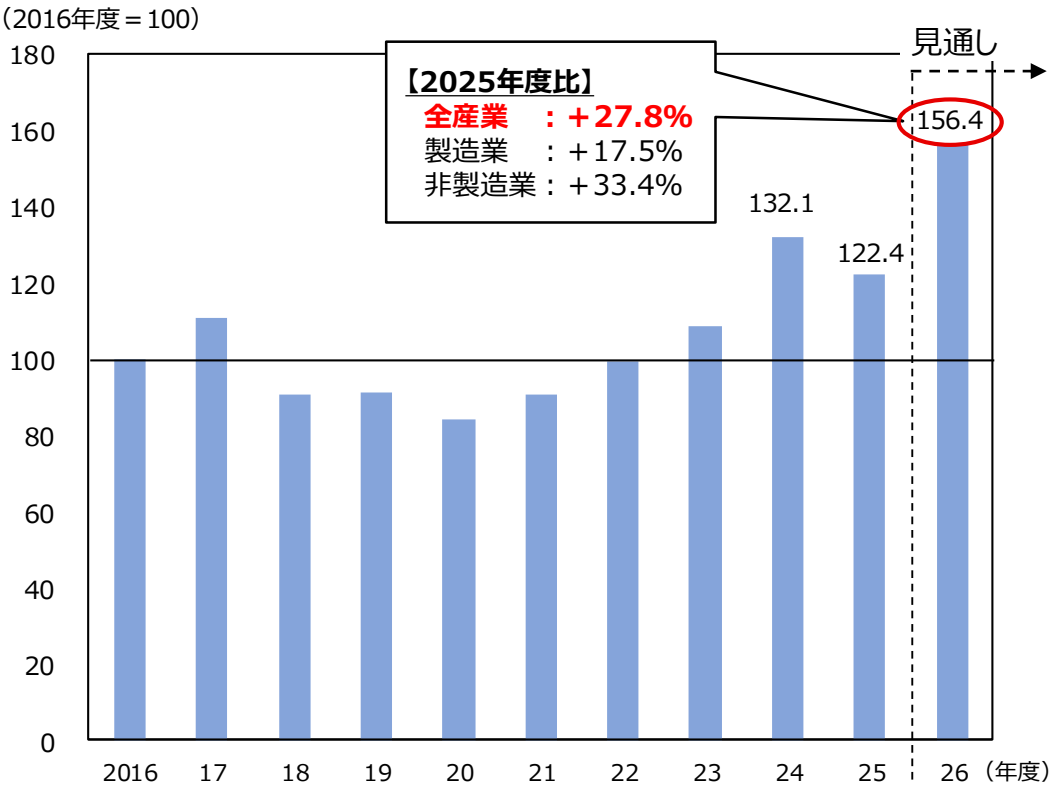
2025年度の価格転嫁の実施状況
（当部2026年4月調査）



(注) カバー率：各種コストや人件費・労務費の上昇分のうち転嫁できた割合
(資料) 当部実施の経営者アンケート調査より作成

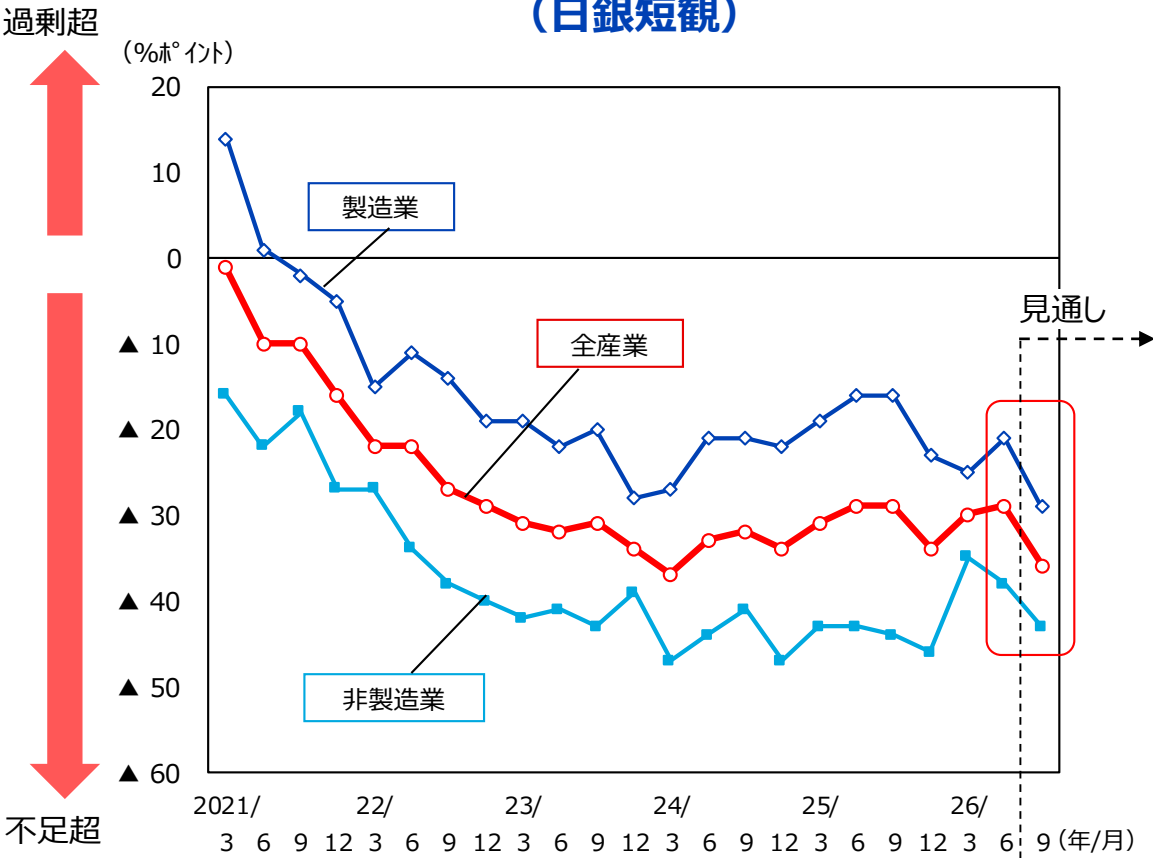
- 日銀短観によれば、県内企業の26年度の設備投資計画額（2016年度 = 100）は156.4と、過去最高であった24年度（132.1）をさらに上回る見込み。
- 深刻な人手不足を背景に、自動化・省力化など生産性向上や就労環境の改善に向けた企業の投資意欲は強く、今後も堅調な推移が予想される。ただし、今後の企業収益の動向次第では計画が下押しされる懸念もある。

広島県内企業の設備投資計画額の推移
（日銀短観）



(注) 土地投資額を含む
(資料) 日本銀行広島支店「短観」より当部作成

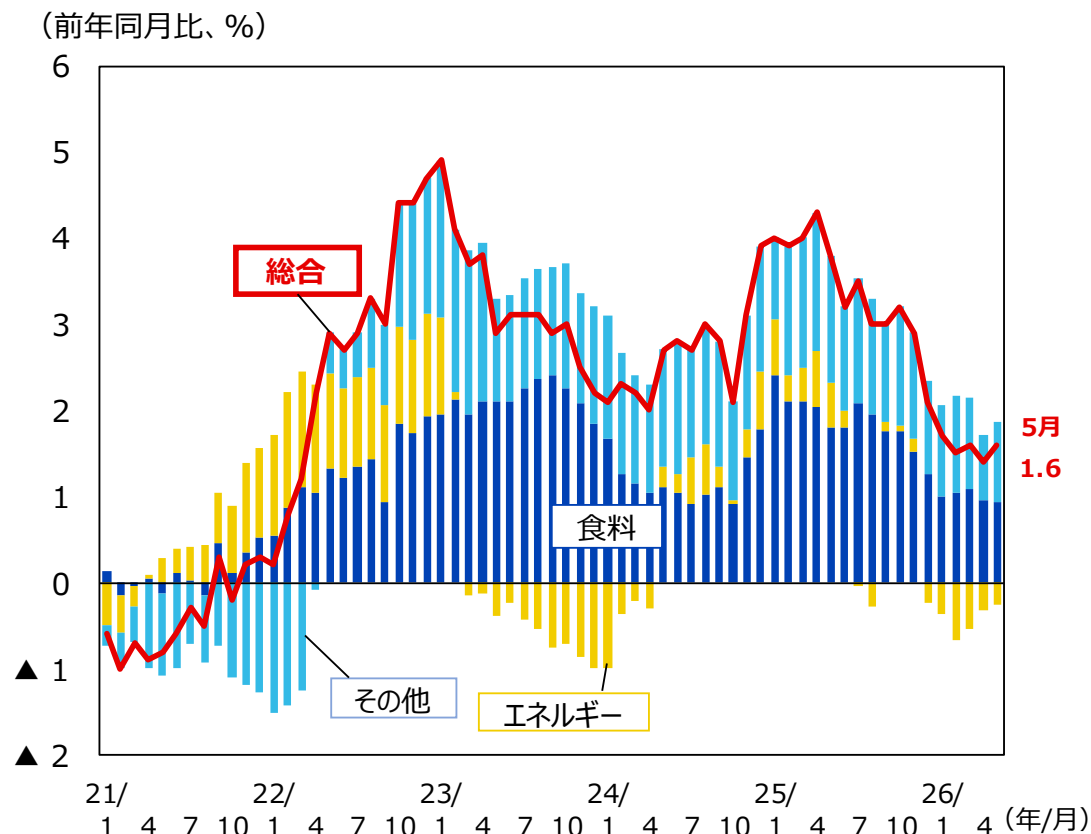
広島県内企業の雇用人員判断DIの推移
（日銀短観）



(注) 雇用人判断DI = 雇用が「过剩」-「不足」とする企業割合
(資料) 日本銀行広島支店「短観」より当部作成

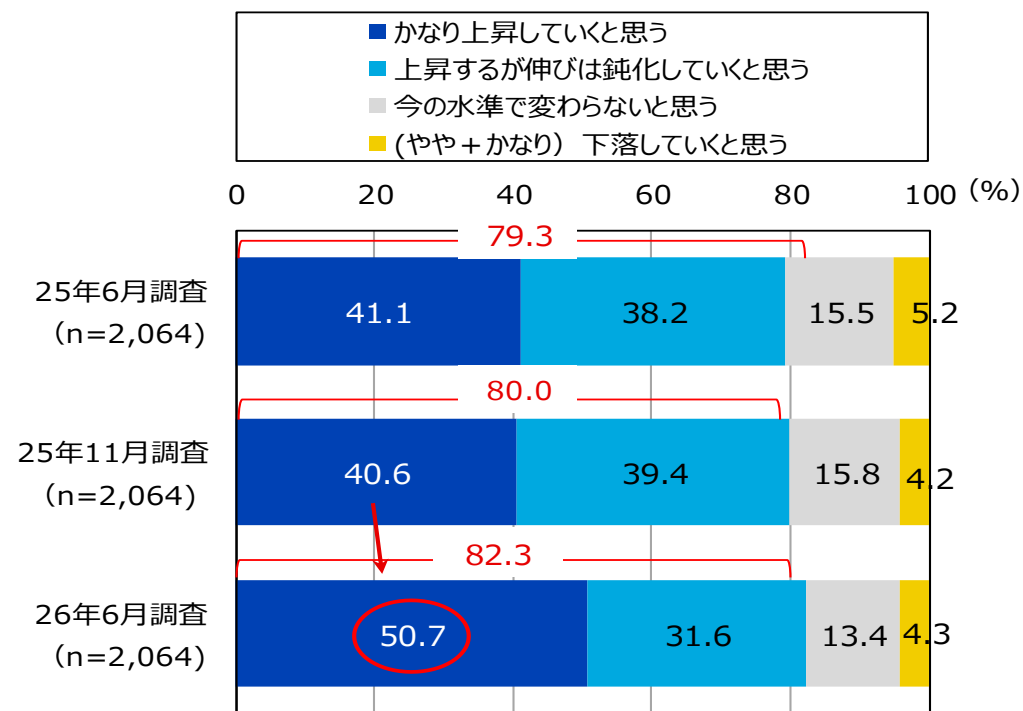
- 2026年5月の広島市の消費者物価指数（総合）は前年同月比+1.6%と、前月（同+1.4%）から伸びが小幅上昇したものの、引き続き2%を下回る水準で推移。今年1～3月の電気・ガス料金補助が一旦終了したものの、高校授業料の無償化やガソリン補助金の継続、食料の伸び率鈍化が上昇を抑制した。
- 参考までに、県内在住の男女約2,000人を対象に、当部が今年6月に実施した調査によれば、今後1年程度の物価の動きについて「かなり上昇していくと思う」と回答した割合が5割超に上昇するなど、消費者の物価先高観はさらに高まっている。

広島市の消費者物価指数（総合）の推移



（注）棒グラフは前年同月比寄与度
（資料）総務省資料より当部作成

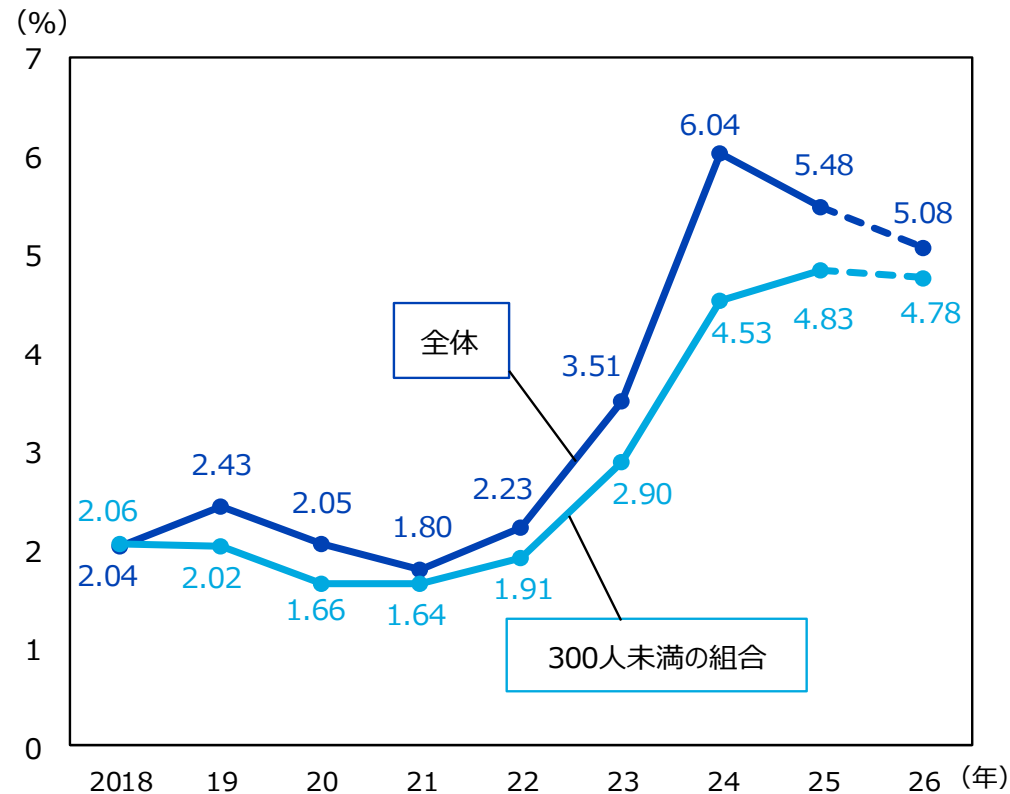
家計から見た今後1年程度の物価の動き （当部2026年6月調査）



（資料）当部実施の個人消費に関するアンケート調査より作成

- 連合広島は2026年春闘賃上げ率（第6回回答集計時点）は5.08%、うち組合員数300人未満の中小労組は4.78%と、3年連続して高めの賃上げとなる見込みで、こうした賃上げの流れが中小企業全体に広がることが期待される。
- また、広島県内企業245社を対象に、当部が今年5月に実施した調査によれば、「昨年度と同程度、または上回る賃上げ」を実施すると回答した企業は全体の8割超を占めており、賃上げの流れが継続している状況が窺える。

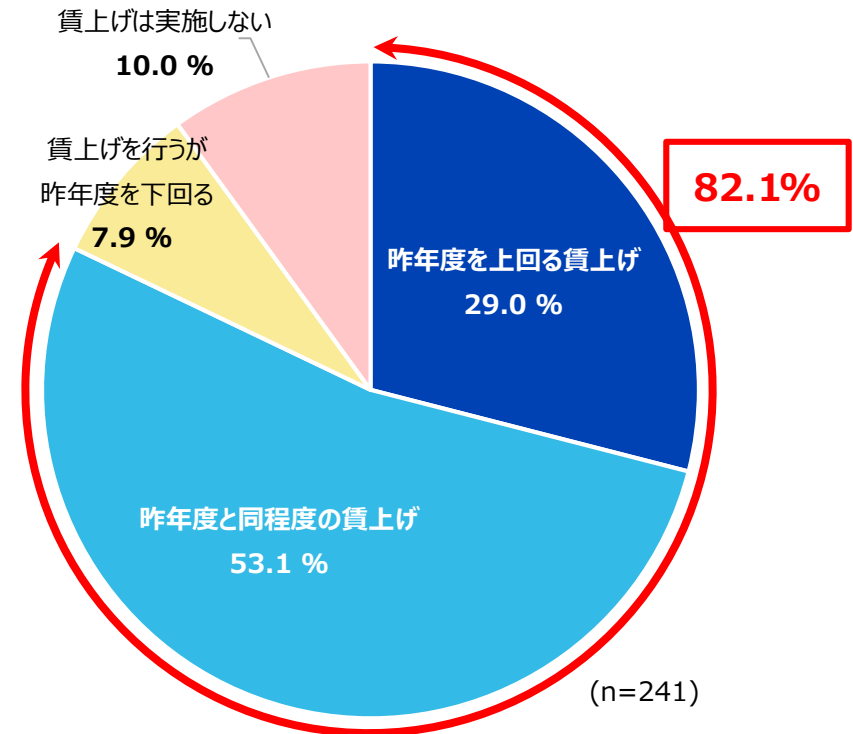
連合広島の賃上げ率の推移



(注) 2026年は第6回回答集計（6月19日）時点

(資料) 連合広島資料より当部作成

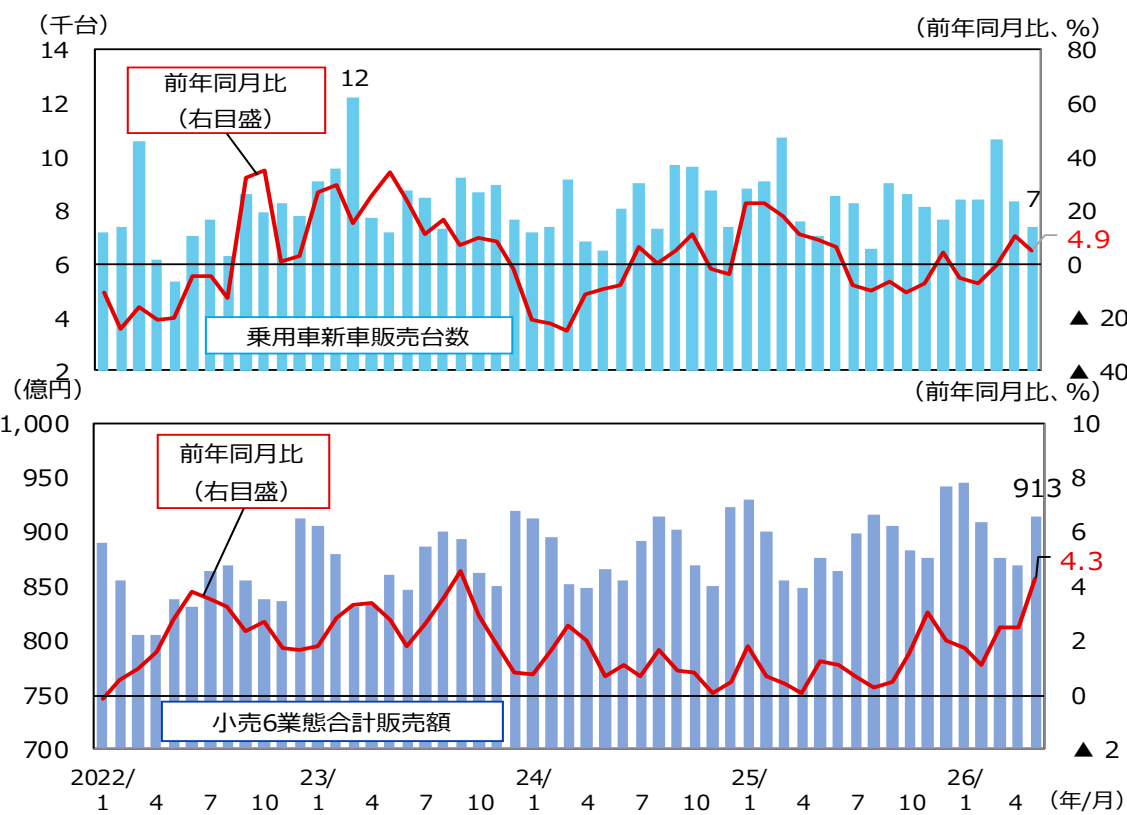
2026年度の賃上げ状況
(当部2026年5月調査)



(資料) 当部実施のボーナスアンケート調査より作成

- 2026年5月の乗用車新車販売台数は前年同月比+4.9%と2ヵ月連続の前年比プラス。小売6業態販売額（3ヵ月移動平均）も同+4.3%と前月から伸び幅が拡大した。とくに、家電大型専門店販売額は同+27.5%と大きく増加。来年4月の新省エネ基準適用を見越したエアコンの駆け込み需要が寄与した。
- 一方、当部が県内在住の男女約2,000人に今年6月実施した調査では、物価上昇圧力が強まる中で、今後「節約姿勢を強める」と回答した割合は引き続き半数を占めた。しかし、所得環境の良化などを背景に、消費者マインドは徐々に上向くとみられ、消費は緩やかながら回復傾向を辿ると期待される。

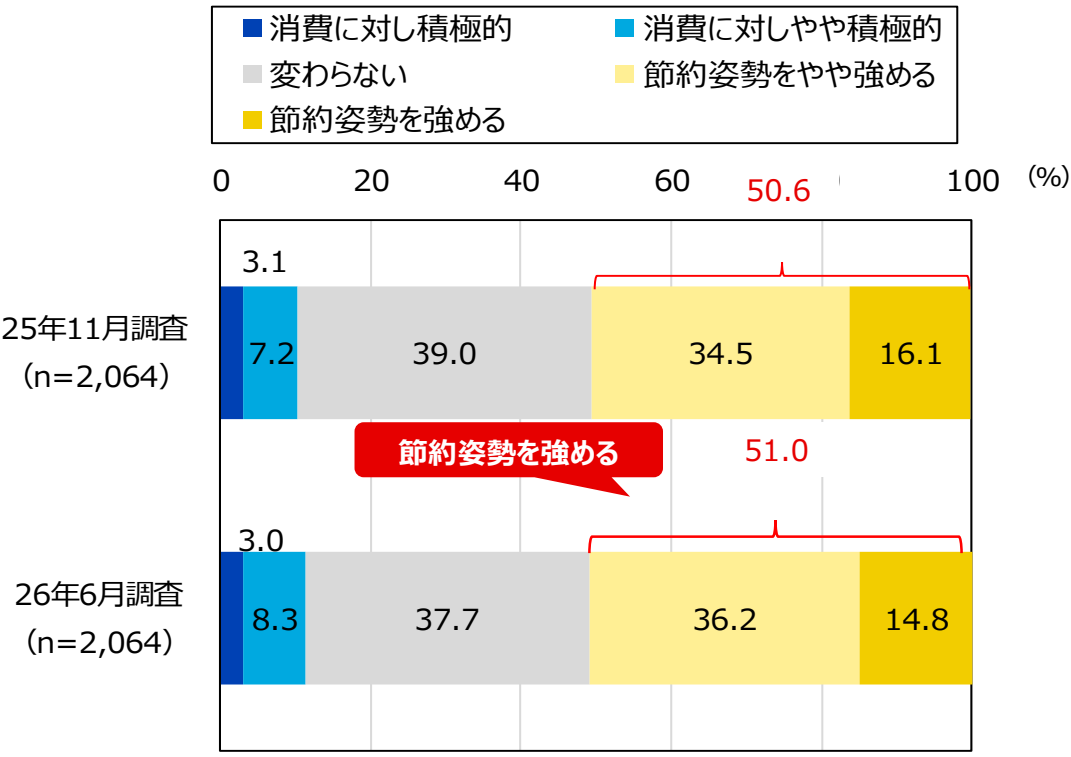
広島県の小売6業態販売額と乗用車新車販売台数の推移



(注) 小売6業態販売額は百貨店、スーパー、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンター、コンビニエンスストアの合計（3ヵ月移動平均値）

(資料) 経済産業省、自販連、軽自動車協会連合会資料より当部作成

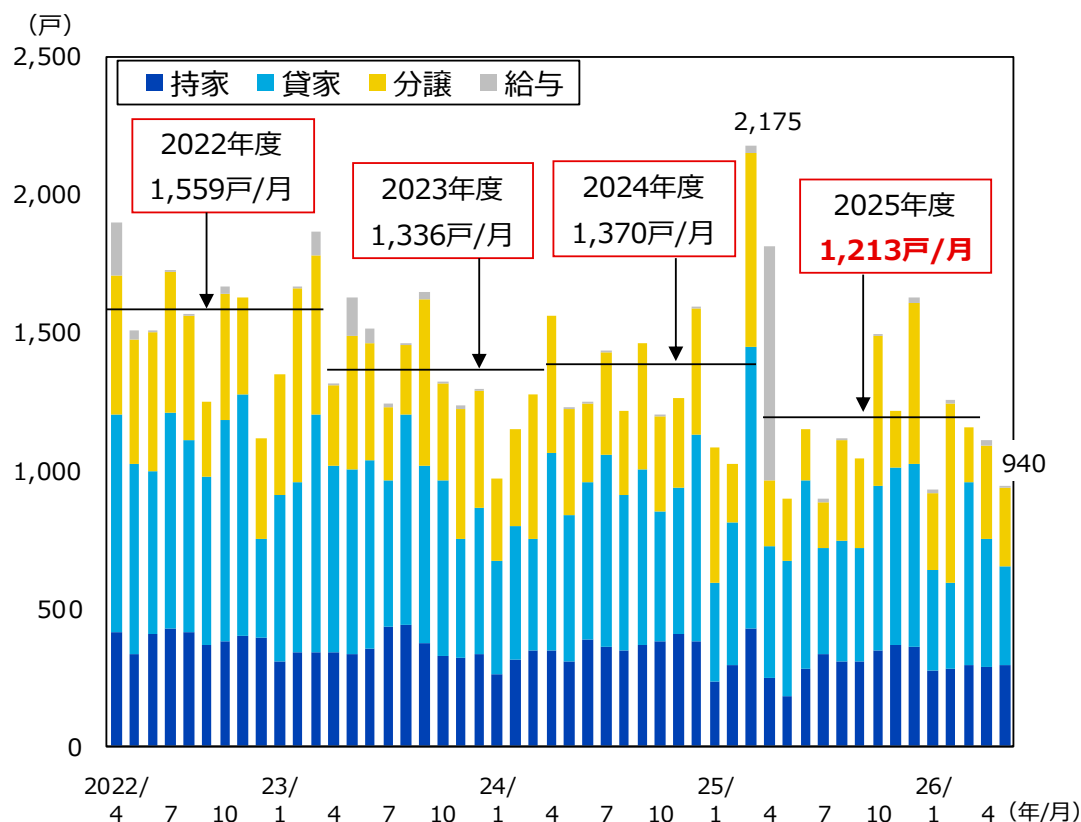
今後1年程度の消費姿勢
(当部2026年6月調査)



(資料) 当部実施の個人消費に関するアンケート調査より作成

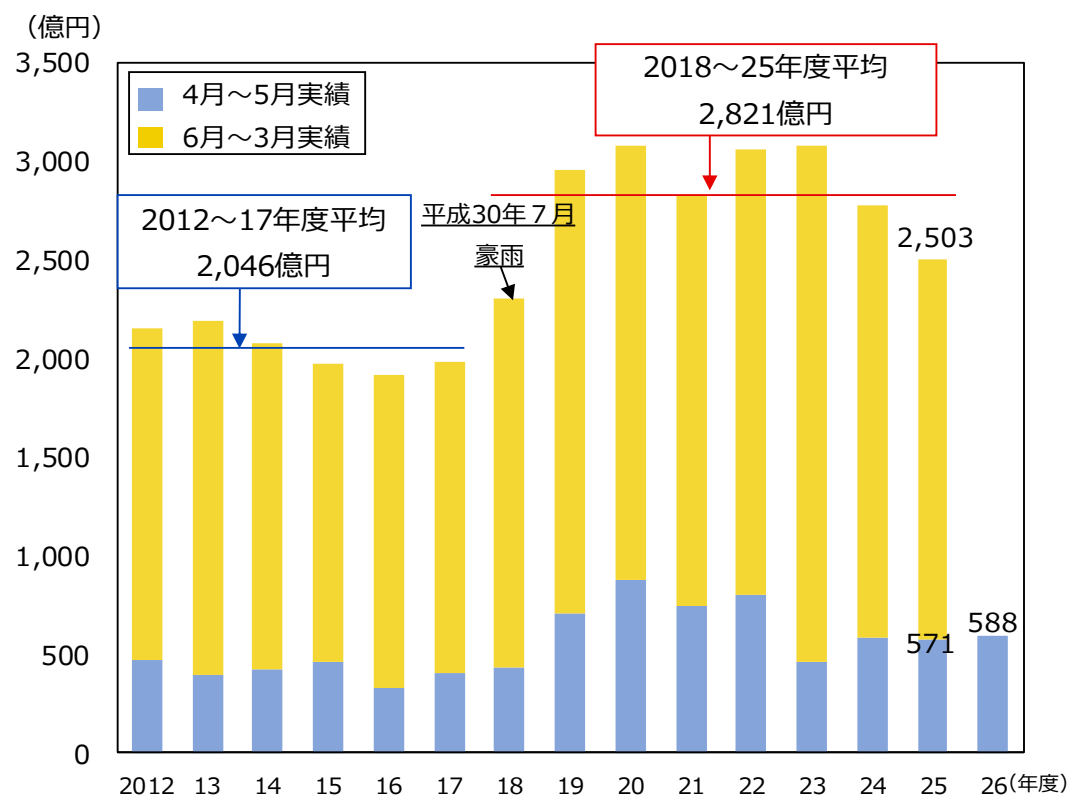
- 2026年5月の新設住宅着工戸数は940戸/月（前年同月比+5.3%）と、3ヵ月ぶりに前年を上回った。ただし、地価・労務費等の上昇や資材価格の高止まりに伴う住宅価格の上昇などを背景に、住宅投資は今後も低調な推移が見込まれる。
- なお、2026年度（5月迄の累計）の公共工事請負金額は588億円（前年同期比+3.0%）と、前年を上回った。

広島県の新設住宅着工戸数の推移



(資料) 国土交通省資料より当部作成

広島県の公共工事請負金額の推移



(資料) 西日本建設業保証(株)資料より当部作成

Ⅲ. 主要経済指標

広島県

年 月	推 計 人 口		景 気 動 向		生 産 活 動								個 人 消 費											
			業 況 判 断 D I		鉱 工 業 生 産 指 数		鉱 工 業 出 荷 指 数		鉱 工 業 在 庫 指 数		自 動 車 生 産 台 数		百貨店・スーパー販売額		百 貨 店 販 売 額		ス ー パ ー 販 売 額		家電大型専門店販売額		ホームセンター販売額		乗用車新車販売台数 (含む軽乗用車)	
	前年(月)差		全産業	うち製造業	前年比		前年比		前年比		[マツダ]		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比	
	千 人	人	%ポイント	%ポイント	20年=100	%	20年=100	%	20年=100	%	千 台	%	億 円	%	億 円	%	億 円	%	億 円	%	億 円	%	台	%
	単 位																							
23	2,739	▲ 20,256			107.3	▲ 1.6	105.4	▲ 1.5	110.0	▲ 2.1	839	14.2	4,273	2.7	1,174	▲ 2.5	3,099	4.8	1,088	▲ 1.0	889	▲ 1.8	104,637	16.1
24	2,716	▲ 22,713			104.8	▲ 2.3	100.8	▲ 4.4	96.0	▲ 12.7	749	▲ 10.7	4,295	0.5	1,097	▲ 6.5	3,197	3.2	1,077	▲ 1.0	888	▲ 0.2	96,673	▲ 7.6
25	2,695	▲ 22,085			105.9	2.0	101.8	1.0	100.3	4.5	717	▲ 4.3	4,256	▲ 0.9	1,049	▲ 4.4	3,207	0.3	1,115	3.5	880	▲ 0.9	99,871	3.3
25 . 4	2,701	▲ 6,685			102.1	▲ 4.0	98.4	▲ 5.7	110.4	▲ 1.7	55	▲ 12.6	327	▲ 2.1	75	▲ 6.8	252	▲ 0.7	75	4.5	81	1.3	7,560	10.9
5	2,701	115			120.1	3.4	116.4	3.7	109.1	▲ 2.9	51	▲ 8.8	339	▲ 1.5	77	▲ 6.6	262	0.1	79	9.2	78	▲ 0.6	7,048	9.0
6	2,700	▲ 1,416	19	15	104.5	2.0	103.2	3.7	104.1	▲ 11.6	61	▲ 8.4	344	▲ 3.1	82	▲ 9.9	262	▲ 0.8	98	2.9	76	5.3	8,536	6.2
7	2,698	▲ 1,368			101.1	▲ 4.6	100.1	▲ 2.4	97.0	▲ 18.0	57	▲ 27.9	367	▲ 1.7	92	▲ 6.9	274	0.2	101	▲ 5.9	77	1.3	8,262	▲ 8.2
8	2,697	▲ 1,153			108.5	5.8	105.1	6.4	99.9	▲ 13.5	49	4.3	360	0.4	74	▲ 3.0	287	1.3	94	2.7	74	▲ 5.8	6,557	▲ 9.9
9	2,696	▲ 1,642	19	13	104.1	3.9	100.2	3.3	104.2	▲ 8.0	68	5.1	328	1.2	78	▲ 0.6	250	1.7	93	2.1	65	▲ 4.6	8,977	▲ 7.1
10	2,695	▲ 985			106.6	4.4	103.1	6.4	107.0	▲ 6.2	70	1.2	347	3.2	86	1.1	261	3.9	78	9.7	70	▲ 1.3	8,576	▲ 10.8
11	2,694	▲ 265			109.2	4.4	104.9	3.1	102.5	0.5	58	▲ 2.3	368	3.0	99	1.0	270	3.8	94	10.9	74	0.8	8,092	▲ 7.4
12	2,693	▲ 1,823	23	18	104.9	5.8	99.3	4.3	106.2	4.5	66	5.9	454	0.2	125	▲ 2.0	328	1.1	108	▲ 1.1	85	▲ 5.1	7,654	4.1
26 . 1	2,691	▲ 1,781			113.1	6.4	107.3	8.8	103.0	1.3	61	▲ 6.8	369	4.4	90	0.2	279	5.8	98	7.7	61	▲ 4.6	8,362	▲ 5.3
2	2,688	▲ 2,330			115.8	10.2	110.0	10.2	105.6	6.3	67	12.0	320	2.9	78	1.2	242	3.4	87	2.4	60	▲ 2.6	8,376	▲ 7.5
3	2,686	▲ 2,419	19	13	110.8	10.6	106.3	12.3	105.4	4.5	72	27.7	368	3.2	95	2.4	273	3.4	124	4.8	74	0.9	10,639	▲ 0.8
4	2,680	▲ 6,407			110.3	8.0	107.8	9.6	109.4	▲ 1.0	63	14.6	336	2.7	79	6.2	256	1.7	82	8.1	79	▲ 2.1	8,321	10.1
5	2,681	1,494									53	5.0	363	7.0	86	10.6	277	6.0	104	32.5	84	8.3	7,393	4.9
6			22	19																				
出 所	広 島 県		日本銀行広島支店		広 島 県								経 済 産 業 省											

(注1)推計人口の各年は10月1日の数値、各月は1日現在の数値。(注2)鉱工業生産指数、同出荷指数、同在庫指数は季節調整済みの値。但し、前年比は原指数による。(注3)全国の2020年推計人口前年差の数値は増減数。(2020年国勢調査で基準を見直したため)(注4)百貨店・スーパー販売額、百貨店販売額、スーパー販売額は、金額、前年比ともに全店舗ベース。

全国

年 月	推 計 人 口		景 気 動 向		生 産 活 動								個 人 消 費											
			業 況 判 断 D I		鉱 工 業 生 産 指 数		鉱 工 業 出 荷 指 数		鉱 工 業 在 庫 指 数		自 動 車 生 産 台 数		百貨店・スーパー販売額		百 貨 店 販 売 額		ス ー パ ー 販 売 額		家電大型専門店販売額		ホームセンター販売額		乗用車新車販売台数 (含む軽乗用車)	
	前年(月)差		全産業	うち製造業	前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比	
	万 人	万 人	%ポイント	%ポイント	20年=100	%	20年=100	%	20年=100	%	千 台	%	百 億 円	%	百 億 円	%	百 億 円	%	百 億 円	%	百 億 円	%	千 台	%
	単 位																							
23	12,435	▲ 60			103.9	▲ 1.3	103.2	▲ 0.7	100.7	▲ 0.5	8,999	14.9	2,160	4.6	596	8.1	1,565	3.3	463	▲ 1.1	334	0.0	3,903	13.2
24	12,379	▲ 56			101.2	▲ 2.6	99.9	▲ 3.2	98.8	▲ 1.9	8,234	▲ 8.5	2,238	3.6	633	6.3	1,605	2.6	473	2.1	340	1.7	3,725	▲ 4.6
25	12,321	▲ 58			100.9	▲ 0.3	99.5	▲ 0.4	96.0	▲ 2.8	8,411	2.1	2,302	2.9	620	▲ 2.1	1,681	4.7	492	4.0	340	0.0	3,834	2.9
25 . 4	12,340	▲ 2			100.5	▲ 0.7	99.2	▲ 0.8	101.1	▲ 1.2	669	3.5	180	2.7	46	▲ 4.9	134	5.6	36	1.1	30	▲ 0.5	287	11.0
5	12,334	▲ 6			101.8	▲ 2.9	100.4	▲ 3.0	100.0	▲ 3.0	638	▲ 2.1	185	1.8	48	▲ 7.3	137	5.4	37	4.7	31	0.6	269	3.1
6	12,337	3	15	7	101.5	3.4	100.3	2.9	99.7	▲ 3.0	726	5.0	188	1.0	51	▲ 8.0	138	4.8	43	5.6	30	2.3	329	5.5
7	12,337	▲ 0			100.5	▲ 1.5	98.8	▲ 2.5	100.1	▲ 2.3	744	▲ 7.5	193	1.6	51	▲ 6.6	141	4.9	43	▲ 4.8	30	1.0	326	▲ 3.7
8	12,327	▲ 10			99.2	▲ 3.3	98.9	▲ 2.5	99.5	▲ 2.9	543	0.4	193	3.3	45	2.4	147	3.6	41	5.4	29	▲ 3.5	249	▲ 8.2
9	12,319	▲ 8	15	7	101.0	2.2	99.6	1.6	99.8	▲ 2.3	761	▲ 0.1	180	3.4	47	1.2	133	4.2	40	5.4	25	▲ 2.3	357	▲ 2.4
10	12,322	3			101.6	0.1	100.5	0.2	99.9	▲ 1.9	814	▲ 0.3	188	5.1	51	4.0	137	5.6	37	11.0	27	0.2	328	▲ 2.8
11	12,320	▲ 2			99.6	▲ 4.2	99.5	▲ 3.0	98.0	▲ 4.1	686	▲ 7.2	199	4.9	57	0.7	142	6.7	41	7.6	29	1.0	307	▲ 7.0
12	12,317	▲ 4	17	11	100.2	0.9	98.4	0.3	98.6	▲ 2.8	691	1.9	238	1.4	71	▲ 1.2	167	2.6	49	0.4	33	▲ 2.6	278	▲ 0.8
26 . 1	12,298	▲ 19			104.5	0.7	102.1	1.2	97.8	▲ 4.3	677	▲ 0.6	197	3.0	54	2.2	143	3.3	45	9.6	25	1.6	308	▲ 6.2
2	12,286	▲ 12			102.4	0.4	100.6	▲ 0.1	98.1	▲ 3.4	740	0.9	176	2.0	47	1.6	129	2.1	37	2.9	23	▲ 1.2	329	▲ 7.3
3	12,285	▲ 1	18	12	102.0	2.4	99.7	2.2	96.3	▲ 5.3	789	0.9	196	1.4	56	2.3	141	1.1	50	4.4	29	3.4	408	▲ 3.2
4	12,286	1			102.5	2.0	101.0	1.8	96.0	▲ 5.0	687	2.7	185	2.4	48	4.5	136	1.7	40	12.1	31	4.6	315	9.7
5	12,281	▲ 5											p 195	5.3	p 51	7.6	p 143	4.5	p 47	27.5	p 34	9.0	277	2.8
6	12,285	4	18	14																				
出 所	総 務 省		日 本 銀 行		経 済 産 業 省								経 済 産 業 省											

(注1)推計人口の各年は10月1日の数値、各月は1日現在の数値。(注2)鉱工業生産指数、同出荷指数、同在庫指数は季節調整済みの値。但し、前年比は原指数による。(注3)全国の2020年推計人口前年差の数値は増減数。(2020年国勢調査で基準を見直したため)(注4)百貨店・スーパー販売額、百貨店販売額、スーパー販売額は、金額、前年比ともに全店舗ベース。

Ⅲ. 主要経済指標

p 速報値 r 修正値

広島県

年 月	建設投資				公共投資		貿易動向				物価動向		企業倒産				雇用動向		金融関係指標（月末〔年末〕値）					
	新設住宅着工戸数		建築着工床面積（非居住用）		公共工事請負金額		輸出通関実績		輸入通関実績		消費者物価指数		件数		負債総額		求人倍率		県内銀行預金残高		県内銀行貸出金残高		資金需給実績等	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	新規	有効	前年比	前年比	前年比	前年比	発行高	受入高
単 位	戸	%	m	%	億 円	%	億 円	%	億 円	%	20年=100	%	件	%	百 万 円	%	倍	倍	億 円	%	億 円	%	億円	億円
23	17,515	▲ 2.5	746,498	1.4	3,038	2.0	30,234	10.1	14,963	▲ 7.8	105.2	3.1	157	48.1	18,956	▲ 42.1	2.82	1.53	157,561	3.0	117,675	3.3	1,936	1,572
24	15,560	▲ 11.2	721,882	▲ 3.3	2,699	▲ 11.2	28,550	▲ 5.6	14,332	▲ 4.1	107.8	2.4	195	24.2	53,629	182.9	2.68	1.45	162,978	3.4	122,239	3.9	1,971	1,217
25	15,502	▲ 0.4	715,732	▲ 0.9	2,695	▲ 0.1	26,315	▲ 7.8	13,476	▲ 6.0	111.3	3.3	171	▲ 12.3	36,284	▲ 32.3	2.56	1.41	167,399	2.7	127,513	4.3	2,064	1,752
25 . 4	1,810	16.2	31,078	▲ 66.2	316	▲ 22.7	1,990	▲ 25.9	1,065	▲ 15.5	111.1	4.1	18	12.5	2,005	12.9	2.69	1.46	164,058	2.0	122,499	4.1	990	1,472
5	893	▲ 27.0	53,699	▲ 14.5	255	43.4	1,932	▲ 9.5	1,124	▲ 10.5	111.5	3.9	11	▲ 45.0	1,453	▲ 42.8	2.50	1.43	165,796	1.1	122,768	3.5	880	1,777
6	1,147	▲ 7.4	95,051	40.2	346	22.7	2,386	▲ 6.3	1,093	▲ 14.4	111.3	3.3	20	33.3	5,261	90.1	2.53	1.42	164,921	1.1	123,403	3.4	1,028	1,379
7	895	▲ 37.3	71,047	45.5	243	▲ 21.1	2,096	▲ 24.8	1,218	▲ 7.6	111.8	3.4	18	▲ 14.3	10,937	402.4	2.59	1.43	165,352	1.5	124,609	3.2	1,034	1,523
8	1,114	▲ 8.2	114,643	172.8	152	▲ 2.4	2,020	▲ 11.3	1,084	3.5	111.9	3.1	18	63.6	5,361	▲ 54.0	2.46	1.41	166,053	2.0	124,713	3.6	1,067	1,688
9	1,040	▲ 28.6	52,804	▲ 49.6	246	8.7	2,264	12.0	1,079	▲ 12.4	111.6	3.2	13	▲ 18.8	922	▲ 72.7	2.47	1.40	165,844	2.5	125,654	4.3	1,017	1,537
10	1,487	24.5	42,884	▲ 44.4	206	▲ 9.5	2,462	21.6	1,089	▲ 4.8	112.1	3.3	16	23.1	2,694	123.9	2.48	1.38	166,596	2.7	126,155	4.2	1,371	1,781
11	1,214	▲ 4.0	57,777	131.8	131	▲ 7.7	2,563	23.9	1,165	0.5	112.4	3.2	4	▲ 66.7	1,074	56.8	2.41	1.38	168,128	2.8	126,577	4.1	1,028	1,560
12	1,623	2.1	58,803	42.9	98	▲ 30.9	2,202	▲ 10.7	1,187	4.5	112.2	2.3	20	33.3	2,403	26.5	2.44	1.38	167,399	2.7	127,513	4.3	2,064	1,752
26 . 1	931	▲ 14.1	58,162	98.2	158	▲ 3.9	2,125	▲ 5.5	1,210	▲ 7.4	112.2	2.3	16	100.0	2,719	109.8	2.48	1.39	167,503	3.7	127,309	4.3	672	1,996
2	1,251	22.6	200,703	315.0	96	▲ 10.4	2,877	47.6	1,293	43.0	111.5	1.8	9	▲ 30.8	1,474	▲ 16.4	2.43	1.38	167,857	4.4	127,200	4.2	990	1,395
3	1,156	▲ 46.9	59,976	▲ 0.4	255	▲ 40.6	3,090	40.5	1,157	▲ 2.4	112.1	1.8	18	50.0	1,957	75.5	2.42	1.37	168,466	3.2	127,869	4.9	1,003	1,643
4	1,107	▲ 38.8	98,326	216.4	386	22.1	2,640	32.7	1,272	19.4	112.7	1.5	17	▲ 5.6	5,823	190.4	2.39	1.38	167,223	1.9	128,120	4.6	1,143	1,518
5	940	5.3	115,673	115.4	203	▲ 20.6	p 2,342	21.2	p 1,274	13.3	113.2	1.5	11	0.0	1,026	▲ 29.4	2.43	1.36	168,410	1.6	128,625	4.8		
6																								
出 所	国 土 交 通 省				西日本建設業保証 広島支店		神 戸 税 関				広 島 県		東 京 商 工 リ サ ー チ 広 島 支 社				広 島 労 働 局		日 本 銀 行 広 島 支 店					

(注1)消費者物価指数は生鮮食品を除く。(注2)企業倒産は負債額1千万円以上の企業が対象。(注3)求人倍率は季節調整済みの値。

p 速報値 r 修正値

全国

年 月	建設投資				公共投資		貿易動向				物価動向		企業倒産				雇用動向		金融関係指標（月末〔年末〕値）					
	新設住宅着工戸数		建築着工床面積（非居住用）		公共工事請負金額		輸出通関実績		輸入通関実績		消費者物価指数		件数		負債総額		求人倍率		国内銀行預金残高		国内銀行貸出金残高		マネーストック	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	新規	有効	前年比	前年比	前年比	前年比	M3	前年比
単 位	千 戸	%	千m	%	百 億 円	%	百 億 円	%	百 億 円	%	20年=100	%	件	%	億 円	%	倍	倍	千 億 円	%	千 億 円	%	兆円	%
23	820	▲ 4.6	43,447	▲ 8.0	1,458	7.1	10,087	2.7	11,040	▲ 6.8	105.2	3.1	8,690	35.2	24,026	3.1	2.29	1.31	9,654	3.6	5,880	4.0	1,599	1.8
24	793	▲ 3.3	38,657	▲ 11.0	1,531	5.0	10,709	6.2	11,272	2.1	107.9	2.5	10,006	15.1	23,435	▲ 2.5	2.25	1.25	9,869	2.2	6,125	4.2	1,621	1.4
25	739	▲ 6.8	36,463	▲ 5.7	1,634	6.7	11,045	3.1	11,310	0.3	111.2	3.1	10,300	2.9	15,921	▲ 32.1	2.20	1.22	10,055	1.9	6,452	5.3	1,637	1.0
25 . 4	56	▲ 26.6	4,085	0.9	273	12.0	915	1.9	930	▲ 2.1	110.7	3.5	828	5.7	1,028	▲ 9.4	2.26	1.25	10,019	0.9	6,150	3.1	1,616	0.3
5	43	▲ 34.4	3,531	22.8	165	4.0	813	▲ 1.8	879	▲ 7.5	111.2	3.7	857	▲ 15.1	904	▲ 33.9	2.18	1.23	10,061	1.6	6,169	3.3	1,619	0.6
6	56	▲ 15.6	2,922	▲ 13.9	191	10.8	916	▲ 0.5	904	0.5	111.3	3.3	848	3.4	1,057	▲ 3.8	2.18	1.22	10,034	1.6	6,233	3.8	1,621	0.8
7	61	▲ 9.7	2,612	▲ 20.7	168	9.5	934	▲ 2.8	950	▲ 7.3	111.4	3.1	961	0.8	1,670	▲ 78.6	2.18	1.22	10,014	1.4	6,250	4.0	1,623	0.7
8	60	▲ 9.8	2,578	▲ 15.6	110	2.7	842	▲ 0.1	871	▲ 5.1	111.5	2.7	805	11.3	1,144	12.8	2.15	1.21	10,046	1.9	6,271	4.6	1,626	1.0
9	64	▲ 7.3	3,379	▲ 3.1	143	12.5	940	4.1	968	3.3	111.7	2.9	873	8.2	1,125	▲ 15.3	2.13	1.20	10,013	2.2	6,302	5.1	1,630	1.0
10	72	3.2	3,093	▲ 8.0	133	18.1	977	3.6	1,001	0.8	112.0	3.0	965	6.2	1,275	▲ 49.6	2.12	1.19	10,032	2.2	6,327	5.3	1,631	0.9
11	60	▲ 8.5	2,360	▲ 25.1	75	▲ 6.8	971	6.1	940	1.4	112.3	3.0	778	▲ 7.5	824	▲ 48.6	2.14	1.19	10,139	2.6	6,376	5.2	1,634	1.0
12	62	▲ 1.3	2,761	▲ 5.9	78	14.9	1,041	5.1	1,031	5.4	112.2	2.4	928	10.2	2,982	53.7	2.14	1.20	10,055	1.9	6,452	5.3	1,634	0.8
26 . 1	56	▲ 0.4	2,566	3.2	62	9.1	919	16.8	1,035	▲ 2.6	112.1	2.0	887	5.6	1,198	▲ 1.3	2.11	1.18	10,090	1.9	6,464	5.3	1,632	0.9
2	58	▲ 4.9	2,833	▲ 11.0	85	23.6	956	4.0	952	10.6	111.8	1.6	851	11.4	1,332	▲ 22.3	2.10	1.19	10,139	2.6	6,491	5.7	1,638	1.2
3	63	▲ 29.3	3,057	▲ 12.3	202	17.5	1,098	11.5	1,034	10.9	112.3	1.8	924	8.3	1,148	16.5	2.15	1.18	10,312	3.2	6,552	6.3	1,644	1.6
4	63	11.4	3,017	▲ 26.1	286	4.7	1,051	14.8	1,021	9.8	112.3	1.4	883	6.6	1,119	8.8	2.11	1.18	10,355	3.4	6,555	6.6	1,647	1.9
5	58	33.9	2,606	▲ 26.2	153	▲ 7.7	p 951	17.0	p 989	12.5	112.8	1.4	780	▲ 9.0	1,212	34.1	2.11	1.17	10,386	3.2	6,586	6.8		
6																								
出 所	国 土 交 通 省				西日本建設業保証		財 務 省				総 務 省		東 京 商 工 リ サ ー チ				厚 生 労 働 省		日 本 銀 行					

(注1)消費者物価指数は生鮮食品を除く。(注2)企業倒産は負債額1千万円以上の企業が対象。(注3)求人倍率は季節調整済みの値。

アンケートのお願い

【アンケートのお願い】

- ひろぎんホールディングス経済産業調査部では、レポートの品質向上を目的として、アンケートを実施しております。（所要時間：1分程度）
- 下記の二次元コードまたはリンクからご回答いただきますようお願い申し上げます。なお、個別のご質問に対する回答は原則として行っておりませんので、あらかじめご了承ください。

アンケートはこちらから
ご回答ください



最近の広島県経済の動き

PCの方は[こちらをクリック](#)してください。

※ ナインアウト株式会社が提供する
アンケートサイトへ遷移します。

- ◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談のうえ、ご確認ください。
- ◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
- ◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんホールディングス経済産業調査部 唐井（082-247-4958）までお願いします。

未来を、ひろげる。

